



山茶花

令和5年11月24日発行

太子町立太子西中学校

校長 森澤 宏 巨

実りの秋へ

11月6日(月)より5日間、2年生のトライやる・ウィークが行われ、70の事業所でお世話になりました。トライやる初日の生徒たちは、緊張感たっぷりで表情が硬かったですが、日が経つにつれ表情が柔らかくなりました。指導ボランティアさんからは、「本当に、よく頑張っています」「いい子たちですね」「将来、うちの会社に来て欲しい」等々の言葉をいただきました。どの事業所の指導ボランティアさんも、生徒のことを考えた計画・内容にしてくださり、丁寧に接してくださいました。生徒たちも、指導ボランティアさんの説明をしっかりと聞き、全力で取り組んでいる姿を見ることができました。トライやるが終わってから、朝の校門で挨拶運動をしていると、2年生の挨拶がより良くなっていると感じます。今後は、指導ボランティアさんへの感謝の思いを持ち、将来に活かしてくれると期待しています。生徒を受け入れていただいた地域の方、事業所の方、一週間ありがとうございました。

とても楽しい経験をすることができました。いつも利用させていただくところですが、トライやるウィークとして行くと、いつもと違う感じがしました。お客様に、少しでも良い車に乗って欲しいという思いで整備士さんは整備をしているんだなと思いました。このトライやるウィークを通して、もっと車が好きになれました。短い時間だったけれども、とても素晴らしい経験をするできました。

(2年生：男子)

はじめて社会の一員として活動をして、働くことの責任を感じました。お客様一人一人に対しての態度を大切にしたいのは、とてもしんどかったです。それでも笑顔で対応している店員さんたちは、すごいなと思いました。私はまだ子どもですが、そのうちに気付いたらあっという間に大人になります。その時に、同じような仕事に就いていたら、今回の経験を生かしていきたいと思います。

(2年生：女子)

また、1日に1、2年生合唱コンクール、13日は文化祭を開催しました。多くの保護者の皆様に来ていただき、ありがとうございました。今年の文化祭のテーマは「力」でした。展示の部では、今まで取り組んできた作品を発表し、ステージの部によるユニークな演出を交えた発表は、感動・感心・笑いありの内容で、生徒たちの素晴らしい新たな“力”を発見することができました。また、合唱コンクールでは、すべてのクラスが素晴らしい歌声を聞かせてくれました。最優秀賞を目指していく中で、練習を重ね上達し、クラスが一つにまとまっていく、そんな合唱コンクールでの経験が学びとなれば嬉しく思います。

今年度も後半になりました。この合唱コンクール、文化祭を通じて仲が深まったクラスで、一つでも多く良い思い出を作って欲しいと願っています。

中学校最後の文化祭は、大成功したいという思いでいどみました。SDGs、保体委員の発表は面白みもあって学んだこともあるので楽しく発表を聞くことができました。SDGsで行ってきたことは、環境のために役立っていると改めて知り、活動して良かったなと思いました。有志演技では、動画から始まり、とても面白くて、西中の教訓も再確認できました。お笑いは、演技がうますぎて笑いが止まりませんでした。ダンスは、みんなキラキラでかっこよかったです。

(3年生：女子)

文化祭を終えて、最後の行事をみんなで楽しむことができ本当に良かったと思います。合唱は、練習を重ねていくほど声も大きくなっていて、みんなが声をしっかり出してくれたおかげで、私自身も歌いやすかったです。こうやってクラスのみんなで練習してきたからこそ、本番で2組らしく歌うことができたと思います。このクラスで合唱ができて良かったです。

(3年生：女子)

はじめての文化祭(合唱コン)をして、とても緊張したけど、本番でみんなの心が一つになったことが、とてもよく感じることできて、本当に良い思い出になりました。また、みんなで目指して頑張ってきた最優秀賞は取れなくて、とても悔しかったけど、この「悔しい」は、とても良いことで、ずっと一生体験できる感情ではないのかなと思いました。

(1年生：女子)

今までで一番いいハーモニーをつくれて、クラスの絆がさらに深まった素敵な合唱コンクールになりました！初めてみんなで歌った時と今日ではすごく大きな差がありました。自分が成長したのに合わせて、クラスのみんなで協力する点で成長できたかなと思います。

(1年生：女子)

